

生存権の現在地

公扶研結成60周年、生活保護裁判支援30年の地点から
生存権の現在地を振り返り、これからの展望を示す

5月31日 (SAT) | 13:30-16:00

全国公的扶助研究会は1965年に結成され、今年で60周年を迎えます。公扶研の60年の歴史は、様々な困難を乗り越え、利用者の生存権を守るために、仕事づくり、職場づくりの取り組みを絶えず進めてきた歴史といえます。吉永氏は、1982年に生活保護ケースワーカーとなって43年、裁判支援に携わって30年の経歴を踏まえ、いのちのとりで裁判（※）など最近の生活保護裁判の状況にも触れながら、生存権の現在地について語ってまいります。

講演 吉永純氏 花園大学（全国公的扶助研究会会長）

メッセージ紹介

公扶研の60年を知る先輩から、
結成時のお話など公扶研へのメッセージを紹介予定

※いのちのとりで裁判

2013年からの制度発足後最大の生活扶助6.5%減額の違法性を争う原告1000人を超える集団訴訟。3月末時点で判決が出た40の裁判所のうち25で原告勝訴（勝訴率63%）という異例の展開となっており、この7月にも最高裁判決が見込まれている。

参加申し込みは
当会HPまたは
QRコードから
5/29までに



対 象：どなたでもご参加いただけます

参加費：無料

講演の様子は会員限定で後日アーカイブ配信予定

懇親会：懇親会費4,500円 当日徴収します

懇親会申込は5/23まで キャンセルは5/29まで

会 場：文京区民センター 2 A 会議室

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-15-14

（都営三田線・大江戸線「春日駅A2出口」すぐ、東京メトロ「後樂園駅」徒歩5分）